

展示されている当社製品


於 UEC コミュニケーションミュージアム

番号	品名・形名	写真	概要	製造年月
1-3	長中波受信機 RH-6		三球式長中波オートゲイン受信機。三極管使用。コイル差し替え式。	1928 頃
77	ラジオ受信機 R-104		戦後、量産した 8 球 3 バンドスーパーヘテロゲイン受信機。優れた性能と音色、新鮮な感覚のキャビネット意匠は好評を得て、当初、売れ行きは好調であった。 展示品は最近修復され、受信が可能	1948 頃
	船舶用レーダー NMD-401 指示器と送受信機		戦後、我が国初の船舶用レーダー	1953.3
4-7	船舶用レーダー NMD-401 送受信機の扉を開けた状態		同上 送信には、マグネトロン、受信には反射型クライストロンが採用されている 周波数:9000MHz、出力:30kW	1953.3
11-13	SSB 送信機 JRS-714		SSB 10kW 送信機 船舶電話用として使用された KDD 海岸局の短波送信機 乗組員と家族が直接通話可能となったもので、秀作の一つ	1995.9

番号	品名・形名	写真	概要	製造年月
14-16	漁業海岸局用送信機 NSD-1501		石巻漁業用海岸局で活躍した送信機	1964.10
17-19	送信機 NSD-1738D			1971.8
20	受信機 NRD-103HA			1964.11
21	全波受信機 NRD-71 NDH-71(プリセットユニット)		位相ロック方式のデジタル周波数シンセサイザーを採用したアップコンバージョン受信方式で周波数安定度、精度が極めて高い 受信周波数: 100kHz ~ 30MHz 100Hz ステップ	1973.7
22	受信機 NRD-1052A			1965.1

番号	品名・形名	写真	概要	製造年月
23	受信機 NRD-1062			1966.6
24	受信機 NRD-1A		純国産 NRD-1 型 (周波数切り替え機構を簡便化、堅牢な構造)のシリーズ機 周波数:90kHz~30MHz	1965.2
25-26 33-34	船舶用短波受信機 NMR-103		戦時標準船用の短波受信機 内地或いは目的地との遠距離通信に使用された オートダイン方式	1944.11
27-28	全波受信機 NRD-11E		18 球トリプル・ダブル スーパーヘテロダイン方式 周波数:90kHz~30MHz 感度:2μV 以下 SSB 電波の受信は水晶発振によるスポット受信(17 波)	1972
29-30	船舶用全波受信機 NRD-15J		運輸省航海訓練所の銀河丸に搭載され、主受信機の補助設備として使用された 高周波増幅は真空管、次段以降は半導体を採用、トリプル/ダブル・スーパーヘテロダイン方式	1972

番号	品名・形名	写真	概要	製造年月
31-32	中短波受信機 NMR-125			1948.9
35-39	レーダー JMA-149G-AC		送受信機:NTG-156-10 表示器:NCD-292	1971.2
40	送信管 7F64R		強制空冷四極管で、発振、変調、増幅に適しており、250MHzまで動作する。 直線性の優れた特性を持ち、端子間絶縁には低損失セラミックを用いている	1964～
41	送信管 6F45R 7F60RA 7F67R 8F71RA		4-30MHzの全域を一様にカバーするためには、送信管の入力容量と直列インダクタンスが出来るだけ少ないことが望ましい。 そこで、当社はSSB5kW、10kW用として8F75R、8F71RAを開発した。	1970～
42	送信管 7F60R 8F63R 8F65R		7F60R:陽極損失2kWの強制空冷四極管で、発振、変調、増幅に適しており、250MHzまで動作する。 トリウムタングステンフィラメントを採用 用途:B、C.P、C.T	1962～

番号	品名・形名	写真	概要	製造年月
48-50	万能5極管 左から FM2A05A FL-2A05A(NF2) NF6		FM2A05A: 独・テレフンケン社の NF2 をモデルに開発、航空機用無線機の大半に採用された NF6: 5 極真空管	1939 ~
51-53	三極管 C7		大正 14 年に始まるラジオ放送を目前にし、ラジオ受信機用として開発・販売した検波用受信管 “青バルブ”と呼ばれ、注目を集めた	1924 ~
54	三極管 C4C		日本独自の初期型真空管の一種で、金属シェルの UV ベース付き C7、C4D (高周波増幅管) と共にラジオ受信機用として大正 13 年に販売を始めた 低周波増幅用	1924 ~
55-62	共同通信社用ファクシミリ送画機 変調卓: NSD-7 リーダー: NWF-16		船舶向けファクシミリ自動放送システムとして納入したもの 旧技術第五部とシステム情報技術部が共同で開発	1982.10
63-65	中短波送信機 NSD-6FX		船舶用送信機 周波数: 中波・短波 出力: 1.2kW DSC/NBDP に対応可能	1972.5

番号	品名・形名	写真	概要	製造年月
66-67	全波受信機 NRD-10		船舶用全波受信機 周波数:100kHz～30MHz 電波形式:A1A、A2A、A2H、A3A、A3H、A3J、アダプター使用でF1A、F4A DSC/NBDP の受信が可能	1976
68-70	NAVTEX 受信機 NCR-300A		船舶が航行の安全に関する情報を自動受信する装置 情報は各国の救難調整本部から518kHzで放送されている	1991
71-72	衛星非常用位置指示無線標識(EPIRB) JQA-2A		船舶が遭難した場合、自動的に衛星経由で通報する装置 衛星向け:406.025MHz 救難機向け:121.5MHz	
73-74	非常用位置指示無線標識(EPIRB) JXV-1		船舶が遭難した場合、スイッチを投入することで、近傍を飛行する航空機に通報する装置 周波数:121.5MHz、243MHz 納入:アンリツ(株)殿	1987.10